

2011年3月27日

加盟チーム責任者各位
協力審判員各位

NPO法人渋谷区サッカー協会
理事長 宗宮震太郎

東日本大震災に伴う春季区民大会の実施について

加盟チームおよび審判団の皆様には、日頃より協会の事業運営にご協力いただき心から感謝しております。

3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方には、喪心より哀悼の意を表します。また被害を受けた方々には心からお見舞い申し上げます。

皆様の中にも被災地にご家族・ご親族・ご友人がお住まいの方がおられ、さぞお心を痛めていることと拝察いたします。東京に住まう私どもも経験したことの無い困難な生活を強いられ、大変な事態となったことを実感しております。福島県での原発のトラブルもいまだ解決されておらず、これからの生活にどのような影響をもたらすか想像もつきません。

このような状況下ですが、春季区民大会の開催について検討した結果、次のように決定しましたのでお知らせいたします。

「全カテゴリが春季区民大会の4月実施分は自粛し行わない。」ことにいたします。

※5月以降に大会を開催するカテゴリは予定通り行います。

- ①世情も放射線の汚染、余震、計画停電、避難所の受け入れ先確保などで不安要因が多く、落ち着いてサッカーをする環境にない。
- ②区内施設の使用制限がある。スポーツセンターグラウンドの使用は15時40分まで、館内は被災修理（復旧見通し立たず）や節電のため一部閉鎖されている。
- ③運営に困難が伴う。節電その他で交通機関や選手の集合などの混乱があった場合に、適切な運営ができなくなる恐れがある。等の理由があげられました。

これらに対し、私たちは無力感を克服し、普通に戻る力を一人一人が発揮すべきである。高校野球開催のように元気づける意味もある。諸行事の中止が続くとかえって気持ちが萎縮する。等の意見もありましたが、安心・安全を優先して判断しました。

関係者の皆様方には、なにとぞこの決定にご理解ご了承のほどをお願いいたします。

1種及びシニア種のチーム責任者の方へ

日程の変更を伴うため、既日程を再度組直しする必要が生じることが考えられます。特に1種は1部優勝者の東京カップのエントリーに合わせるため、改めて編成会議を招集する可能性があります。また秋季大会開催も現時点では不透明な状況で、今後どのような形で落ち着くか予想が付きません。皆様にもご迷惑・ご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、何とぞご理解のうえご協力をお願いします。